



アゲートスライス

~作り方~

エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「**主剤**」と「**硬化剤**」の2液を混ぜて化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----



注意点①

比率を間違えない

注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



手袋&エプロン
着用



換気
or
マスク着用



作業台に
ビニールシート

★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比

2:1

主剤 硬化剤

クリスタルモールドレジン



混合比

3:1

主剤 硬化剤

コーティングレジン



混合比

4:3

主剤 硬化剤

硬化時間 25°C 2日間

硬化時間 23°C 3日間

硬化時間 23°C 3日間

適応作品 波アート等の
薄い作品

適応作品 トレーやキューブ等
の分厚い作品

使用用途 作品の
コーティング

用意するもの



材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■着色剤 ■箔ホイル

道具

□電子スケール □アゲートモールド □ガストーチ □ガムテープ
□ビニール手袋 □紙コップ(150ml・60ml) □混ぜ棒(細・太) □カバー箱

はじめに

マイカパウダーVer.とアルコールインクVer.を1枚ずつ、計2枚制作します。
マイカパウダーVer.とアルコールインクVer.では硬化後の模様が異なります。
着色剤が底に沈むため裏面は綺麗ではないです。予めご了承ください。

★作り方★

①ガムテープでモールドの埃を取りながらキズがないかを確認する。

※モールドは大きな形から2つ選択

※埃・キズが残るとそのまま固まってしまうたり痕になってしまう為、要確認

※曇ったモールドを使用すると、

完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは交換





② レジンを混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン^①を混ぜる。

アゲート 1枚につき90g(主剤60g:硬化剤30g)

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。

※レジンは粘度を高めなくて良い



③ レジンを3つのカップに取り分ける

小さい紙コップに15g,15g,5gの3つに取り分ける。
残りの55gのレジンは残しておく。

④ レジンに着色剤を混ぜる 【マイカパウダーVer.】



- ・ 15gの2つのレジンにそれぞれ大豆1個分くらいのマイカパウダーを混ぜる。
※パウダーはダマが残りやすいので注意
- ・ 5gのレジンにはホイルを混ぜる。

⑤ モールドに流し込む

1色目を外側から



2色目を1色目の内側に



透明レジン
2色目の中心に流す

Point★
レジンの流動を促す為
透明レジン
は
高めの位置から流す



④ レジンに着色剤を混ぜる 【アルコールインクVer.】



- ・ 15gのレジンに少量(混ぜ棒の先5mm位)のシュプリームホワイトを入れる。
※多く入れないように注意
- ・ もう1つの15gのレジンに8~10滴のアルコールインクを混ぜる。
※こちらは色あせ防止の為、濃く色を付ける
- ・ 5gのレジンにはホイルを混ぜる。

⑤ モールドに流し込む

透明レジン
を
モールド全体に流し込む



1色目を外側から流し込む



2色目を
1色目の外側に流し込む





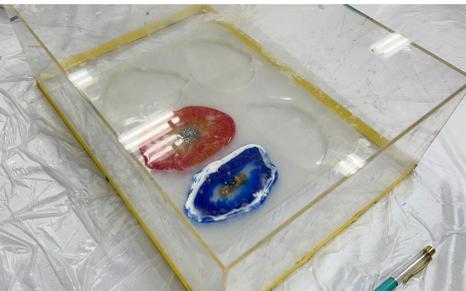
⑥ホイルを真ん中に置く

ホイルは、混ぜれば混ぜるほど細かくなる。
透明レジンに混ぜないでそのまま乗せても良いが
硬化後デコボコする。



⑦ガストーチで気泡を飛ばす

ホイルに火を当てると焦げるので注意！



⑧約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



⑨完全硬化後にモールドから外す

約2日後、完全硬化後にモールドから外す。

バリができていた部分はヤスリで削る。

※面を削るとキズが付く、曇ったようになってしまうので注意



アゲートスライス完成！



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒

